

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立弘道第一小学校 校長 鈴木 秀明

1 学校教育目標

心身ともに健康で、思考力・判断力・行動力があり、自立し共生しようとする心情あふれた児童を育成するため、人間尊重の精神に基づき次の教育目標を設定する。

○やさしい子 ○考える子 ○元気な子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- やさしい子：児童の読書に関する意欲を高め、想像力と幅広い知識を身につけさせる。
- 考える子：必要な情報を収集・選択・活用することができる能力を身につけ、自ら課題を解決しようとする主体的な力を育てる。(学習・情報センターとして)
- 元気な子：子供の読書活動を支援し、読書の喜びや楽しさを味わわせることによって、望ましい読書習慣を身に付けるとともに、豊かな心情を育てる。(読書センターとして)
- 児童の読書に対する意欲を高めるために、学校図書館及び、校内の図書に関わる環境を整える。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	1. 蔵書数 9,861 冊 (蔵書基準冊数 7,960 冊) / 蔵書率 126.6% (元年度末 124%)									
	② 新規購入図書 493 冊 / 廃棄図書 281 冊 / 増減冊数 212 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.5%	1.0%	7.3%	8.3%	11.0%	4.3%	3.4%	7.3%	5.8%	50.1%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 8：30～15：45									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数					22.2 冊 (前々年度末：21.49 冊)				
	③ 1か月に2冊以上読む児童					45.0% (前々年度末：55.4%)				

(令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 9,939 冊 (蔵書基準冊数 7,960 冊) / 蔵書率 124.8%									
	② 新規購入図書 325 冊 / 廃棄図書 310 冊 / 増減冊数 15 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.0%	1.0%	7.0%	9.0%	12.0%	5.0%	3.0%	7.0%	6.0%	49.0%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 8：30～15：45 (前年度からの変更 あり なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数					24.3 冊 (前年度末： 22.2 冊)				
	③ 1か月に2冊以上読む児童					78% (前年度末： 45.0%)				

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書をしようとする態度を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 学校図書館を使う授業を月に3回程度行い、本を手にする機会を増やす。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。		① 各クラス月2回以上、読書等の学習を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり60冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施する。
目標達成状況		

① 達成できた。 ② 児童一人あたりの年間平均冊数は、65 冊であった。 ③ 学校図書館の利用の仕方があることを知り、本を丁寧に扱うことを学んだ。		
第 2 学年	① 易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方の基本的な知識・技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、分かったことを友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするこゝができる。		① 各クラス月 2 回以上、読書等の学習を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり 60 冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施する。
目標達成状況		
① 達成できた。 ② 児童が一人あたりの年間平均冊数は、60 冊であった。 ③ 利用の仕方を守ることができ、オリエンテーションを通して様々の本があることを学んだ。		
第 3 学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② 進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それに関する本についても説明する態度を育てる。 ② 辞書や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするこゝができる。		① 各クラス月 2 回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり 50 冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施する。 ④ 「調べる学習コンクール」に参加する。
目標達成状況		
① 達成できた。 ② 児童が一人あたりの年間平均冊数は、48 冊であった。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守り、様々な分類の本を読むことができた。 ④ 参加する者は 0 名であった。		
第 4 学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② 進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用できるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞書や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするこゝができる。		① 各クラス月 2 回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり 50 冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施する。 ④ 「調べる学習コンクール」に参加する。
目標達成状況		
① 達成できた。 ② 児童が一人あたりの年間平均冊数は、42 冊であった。 ③ 学校図書館の利用を守り、様々な分類の本を読むことができた。 ④ 1 名が「調べる学習コンクール」に参加した。		

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② 積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。
今年度の成果目標	
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書や探求活動の学習について学校図書館を活用して行う。 ② 年間一人あたり40冊以上の本を読む。 ③ 「調べる学習コンクール」に参加する。
目標達成状況	
① 達成できた。 ② 児童が一人あたりの年間平均冊数は、10冊であった。 ③ 23名が「調べる学習コンクール」に参加した。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② 積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に活用できるようにする。
今年度の成果目標	
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	達成基準 ① 各クラス月2回以上、読書や探求の学習について学校図書館を活用して行う。 ② 年間一人あたり40冊以上の本を読む。 ③ 「調べる学習コンクール」に参加する。
目標達成状況	
① 達成できた。 ② 児童が一人あたりの年間平均貸出冊数は、14冊であった。 ③ 9名が「調べる学習コンクール」に参加した。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 図書室の配置を変えて、児童がよりよく読める環境づくりを設ける。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	① 図鑑やポプラディアの新刊を購入した。中学年に使い方の授業を行い、図鑑を手に取りやすい環境づくりに努めた。 ② 同じ本や古い本を廃棄し、少ない分類の本を購入し、蔵書の比が基準に近づいた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習や図書委員の活動、学習に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。	① オリエンテーションを行うことで、子供たちが本に慣れ親しむことができた。また、味見読書を高学年に行い、貸し出し冊数を増やすことができた。 ② 委員会活動では、ブックカバーのかけ方や修繕の手伝いをした。定期的に支援員への相談や情報交換を行った。
【その他】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、貸し出しの制限や学年によって貸し出し日を決めておく。消毒や本の管理を徹底し、安心して安全な学校図書館を目指す。	今年度から本の劣化を考え、本の消毒をやめた。また、自分で借りた本を元の場所に返すようにさせた。返した本をすぐに借りることができる環境が作れた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

コロナ禍で、制限がある中、多くの児童がより多くの本に親しめるよう学校図書館づくりに努めた。今年度は、学校図書館を利用する回数が昨年より多く、貸出冊数が昨年より 976 冊増えた。また、「1 か月に 2 冊以上読む児童」は昨年度 45%、今年度は 78%であった。次年度も本を読む児童が増えるよう、本を読む楽しさについて学校図書支援員と連携し POP や掲示等を作成し児童に伝えていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

2 類の蔵書が増え棚に収まらないので、本の配置を変え、蔵書が収まるように工夫する。
読書を習慣付けられるよう、学校図書館を活用した授業や読書旬間を通し、児童が学校図書館に関わり本に親しむ機会を増やしていく。
昨年度と比べ「調べる学習コンクール」に参加する児童が中学年において少なかった。児童が、本を使って調べる方法や調べる手順について改めて指導し、参加を促していく。
学校図書館支援員や図書ボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践していく。